

# 第10回名古屋市生徒会サミット 2023

## 実施報告書



主催：NPO 教育支援協会東海  
共催：名古屋市教育委員会  
後援：名古屋市立小中学校校長会  
名古屋市  
公益社団法人名古屋青年会議所  
協賛：ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

日時：2023年8月20日（日） 10:00～17:00 終了

場所：名古屋市昭和区御器所通3丁目12番の1  
御器所ステーションビル名古屋市高齢者就業支援センター  
5階大会議室

## ■趣旨

名古屋市の次世代リーダー達が一堂に集い、他者や地域のことを真剣に考え、未来の名古屋に貢献できる真のグローバルリーダーを育成する。

## ■内容

第2回中学生の祭典「チュー祭」に向けて、名古屋市のリーダーとして、中学生の祭りをどんな祭りにしたいかを熟議し、提案する。

## ■参加校 12校 33名 (順不同)

新郊中学校 今池中学校 有松中学校 鳴子台中学校 北陵中学校 高針台中学校 天白中学校  
本城中学校 神丘中学校 大高中学校 滝の水中学校 円上中学校

## ■名古屋市生徒会サミット実行委員 18名

### ■中学生ファシリテーター

新郊中 圓地 陸来 今池中 中安 累菜 大高中 竹内 大空  
大高中 上野 悟一 大高中 三島 青沙



## ■これまでの経緯

|   |                     |                    |            |
|---|---------------------|--------------------|------------|
| 第1回   | 2013年7月17日(火)       | 名古屋市教育センター6階研修室    | 26校 72名    |
| ・テーマ「生徒会として行える地域貢献」   |                     |                    |            |
| 第2回   | 2014年1月18日(土)       | 名古屋市立笹島中学校ランチルーム   | 17校 70名    |
| ・テーマ「生徒会として行える地域貢献 3つのテーマで(防災・環境・いじめ撲滅)」                    |                     |                    |            |
| 第3回   | 2015年9月19日(土)       | イーブルなごや2階視聴覚室      | 16校 70名    |
| ・テーマ「地元を盛りあげるアクションプラン」                                      |                     |                    |            |
| 第4回   | 2016年10月29日(土)      | 御器所ステーションビル5階大会議室  | 13校 62名    |
| ・テーマ「4つのテーマで熟議をしよう(防災・環境・いじめ撲滅・SNSリテラシー)」                   |                     |                    |            |
| 第5回   | 2017年10月22日(日)      | 御器所ステーションビル5階大会議室  | 11校 59名    |
| ・テーマ「4つのテーマで熟議をしよう(防災・環境・いじめ撲滅・SNSリテラシー)」                   |                     |                    |            |
| 第6回   | 2018年10月20日(土)      | 御器所ステーションビル5階大会議室  | 8校 35名     |
| ・テーマ「チュー祭を盛りあげよう！(4つのテーマの積み上げをどう伝えるか)」                      |                     |                    |            |
| 第7回   | 2019年8月2日(金)        | 御器所ステーションビル5階大会議室  | 19校 65名    |
| ・テーマ「チュー祭を盛りあげよう！(4つのテーマ以外でチュー祭でやってみたいことを出し合おう！ダイナミックな発想で)」 |                     |                    |            |
| 第8回   | 2021年10月16日17日(土・日) | オアシス21銀河の広場        | 1027名(来場者) |
| ・テーマ「中学生の祭典「チュー祭」の開催  |                     |                    |            |
| 第9回   | 2022年8月20日(土)       | オーシャンスクエア3階(オンライン) | 6校 15名     |
| ・テーマ「身近な課題を解決しよう」   |                     |                    |            |
| 第10回  | 2023年8月20日(日)       | 御器所ステーションビル5階大会議室  | 12校 33名    |
| ・テーマ「第2回中学生の祭典「チュー祭」に向けてどんな祭りにしたいか」                         |                     |                    |            |

## ■ 日程

| 時間            | 内容   |
|---------------|--|
| 9:30<br>10:00 | <p><b>受付開始</b><br/><b>オープニングセレモニー</b><br/>司会 名古屋市生徒会サミット実行委員（高校生実行委員 3名）</p>   |
|               | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>■映像 名古屋市生徒会サミット 2018 の映像<br/>(大学生実行委員 2名 高校生実行委員 1名が担当)</p>   |
| 10:10         | <p>■主催者あいさつ NPO法人教育支援協会東海代表 本多功<br/>本多功代表からは主に3つのことをお話していただきました。</p> <div style="display: flex;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>○2021年に開催した第1回中学生の祭典「チュー祭」までの成り立ちについて。<br/>○協会の理念とビジョンについて。<br/>○本日のサミットへの期待とエール。<br/>本多代表はいつも「金を出すけど口はださないよ」と言います。子どもたちには、余計なことは気にせず、思い切り熟議をして、そして話し合ったことが現実になることの喜びを知ってほしいという代表の想いを聞かせてもらいました。</p> </div> </div> |
| 10:20         | <p>■アイスブレイク 名古屋市生徒会サミット実行委員（高校生 5名）<br/>・実行委員のリードで、アイスブレイクを行いました。初めて会う他の学校の人たちとも、アイスブレイクによって打ち解けます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>  |

10:30

■全体ファシリテーター 導入は大学生実行委員が行いました。



「みなさん。事前学習の「来年開催する中学生の祭典チュー祭をどんな祭りにしたいか」を考えてきてくれましたか？そうです！今日は来年開催する中学生の祭典「チュー祭」に向けてアクションプランをこのメンバーで作りあげます。

2021年に開催した第1回「チュー祭」では、5つのテーマ別にオアシス21でブースをつくって発表しました。防災・環境・いじめ撲滅・SNSリテラシー・地元もりあげの5つです。

さきほどの本多代表の話しにもあったように、来年の第2回「チュー祭」では5つのテーマに限らず、中学生ならではのダイナミックで、地元愛にあふれたアクションプランを考えて作成してほしいと思います。とても楽しみです。みなさんががんばりましょう！」

10:40

### 熟議前半開始

テーマ：「第2回中学生の祭典「チュー祭」でやってみたいこと！」

- ・事前学習で考えてきたプランを5つのグループに分かれて出しました。
- ・次に、共通項や魅力あるものを見つけながら、出た意見を絞っていきます。
- ・熟議の開始には、初めて参加する中学生のために KJ 法などの進行方法を大学生実行委員が説明を行いました。



12:10

## 昼休憩

・昼休憩の時間も同じグループで意見交換を続けました。昼食をとりながらの交流は、グループの親睦を深めます。

・机上の飲み物の紹介

司会「毎年協賛いただいているポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社様より、キレートレモンの差し入れです。」司会がアナウンスすると、馴染みのある企業名と飲み物の名前を聞き、大きな拍手が起こりました。

12:45

## 名古屋市教育委員会教育長 坪田知広様のお話し



今回は共催である名古屋市教育委員会から坪田教育長が応援にきてくださいました。坪田教育長はサミット開始時から終了時までご見学されました。お話しの中で坪田教育長は、みなさんが提案されることは、教育委員会としてもできる限り実現できるよう応援すると言っていました。また、先日行われたいじめ問題のシンポジウムにも触れられ、苦労したのは宣伝だった。チュー祭の宣伝活動も思い切り伝えないと届かないなど宣伝広報を思い切りやった方がいいという

課題も教えていただきました。校則については、生徒がみんなで決めていくといい。何をこれまで通りにして何を変えていくか、生徒が参画して議論していく、自分たちで決めたルールだから守る。自由には責任が伴う。この熟議は今の学校生活のみならず未来の中学校をイメージして議論していただきたいしそんなクリエイティブなことをしているということ。今ここにいる高校生や大学生、大人たちも真剣に応援している。とエールをいただきました。

13:00

## ■全体ファシリテーター 大学生実行委員のことば



東京からかけつけてくれた大学生実行委員が熟議後半に向けてファシリテートしてくれました。内容は、前半で出し合ったアクションプランに意味付けをしましょう！というものです。名古屋市生徒会サミットは「深く考える」ことも求められるアカデミックなところも魅力です。勢いと熟考の両面そろった発表がますます楽しみです。

大学生実行委員は自分が中学生のときからサミットに参加してきたメンバーです。第1期生は今年から社会人になっています。この場面でファシリテートした大学生は、2019年のサミットで高校生実行委員としてもファシリテーターを務めました。実行委員の歴史を感じる一コマです。

## 熟議後半開始

テーマ：「アクションプランをみんなで深めてつくりあげよう！」

- ・後半は前半で決めたプランを深めて、具体的なアクションプランにつくりあげます。
- ・発表準備をしながら模造紙に作成していきました。



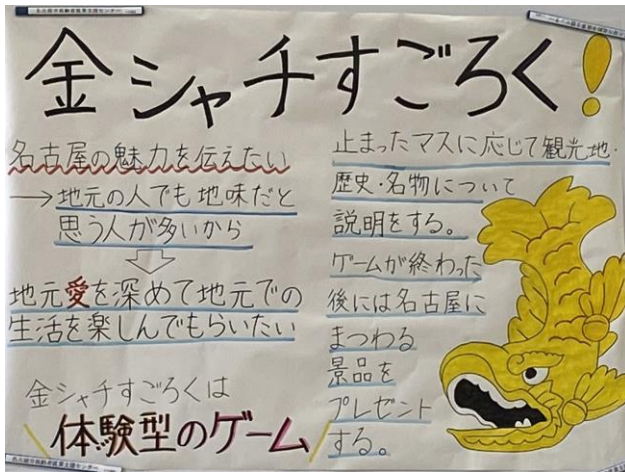
## ■先生たちの熟議

今回見学に来て下さった先生方も来年のチュー祭でどんなことをしてみたいか熟議しました。



## 発表 (1G 約5分)

## ■A グループ



みなさんは名古屋についてどのようなイメージがありますか？

みなさんの中では名古屋は地味で何もないと思われることが多いと思います。

実際私たちもそう思うところがあります。そこで私たちは、すごろくを通して名古屋の魅力を知ってもらい、名古屋での生活をさらに楽しくしてもらうために金シャチすごろくを提案します。金シャチすごろくは体験をしながら名古屋の魅力を知ってもらうゲームです。

具体的には、ブースの地面にすごろくのマス目を作ります。そしてサイコロをまわしすごろくを行いながら名古屋の魅力を体験してもらいたいと考えています。各マスの内容は次の3つを考えています。1つめは東山動物園や名古屋港水族館などの観光地についてのマスです。

2つめは織田信長や名古屋城などの歴史についてのマスです。観光地と歴史のマスではその場面で説明をします。3つめは体験のマスです。体験マスでは名古屋めしを食べながら名古屋についてのクイズをします。クイズに正解した数に応じてゴールをしたときに、有松絞りのハンカチなどの景品をプレゼントしたいと考えています。

進め方は1グループ4人までで、サイコロをふりながら進みます。各グループ1人ずつのスタッフが付き、サイコロをふったそのマスの説明を行います。各マスには写真付きの看板も設置して少しでも楽しくもらえるようにと考えています。全体で約20マスを考えていて、できるだけ多くのマスに止まってもらえるよう、サイコロを1から3の特別バージョンで行いたいと思っています。またすごろくの形を名古屋に輝く金シャチの形にするなどの工夫もしたいと思っています。

私たちは参加してもらった人や、自分自身が名古屋での生活を楽しくしてもらうために名古屋以外の人に魅力が伝わるようにしていきたいと考えています。なので、すごろくを楽しみながら名古屋の魅力や名物を体験してもらうために金シャチすごろくを提案します。

## ■B グループ



今から B 班の発表を始めます。私たちが考えたチュー祭のテーマは文化祭です。私たちの中では文化祭を経験していない人が多いのではないのでしょうか。文化祭と言えば青春のど真ん中。いろんな食べ物を食べていろんなブースをまわって、まさに私たち中学生の憧れです。しかし、学校の先生に文化祭やりたいたいと言ってもとれる時間が15分しかないと言われてしまいました。失礼しました。そこで普段ではできないことをこのチュー祭で実現したいという思いからこの文化祭というテーマを選びました。

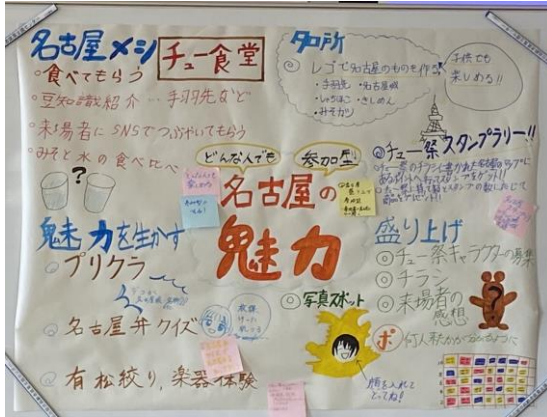
オープニングではくす玉を割って、チュー祭開催という垂れ幕を出して、会場の風船を空に放し始めます。それによって場をもりあげ周囲の目を引き宣伝につなげます。

次にブースについて説明します。ここでは、ゲームとSDGsの融合を図りたいと考えました。ブースには迷路と出店をつくります。迷路ではSDGsにまつわるクイズやお化け屋敷の要素を取り入れることで楽しく学べるコーナーをつくりたいと考えました。出店ではひつまぶしなど名古屋市の名物を売ります。そして食べ物の容器には環境にやさしい素材を使い、SDGsの促進イラストを印刷したいと思います。地球温暖化などの環境問題が今まさに注目を集めていますよね。そこでこのようなブースを設け、チュー祭に来た中学生にも環境問題に興味を持ってもらいたいです。そうすることで名古屋市の未来を担う中学生たちに身近な問題について考えるきっかけをつくりたいと思います。

舞台発表では地域の吹奏楽部やジャズ部など音楽に関する部活動を日々頑張っている中学生を招待し、聞いているだけで踊りたくなるような素晴らしい演奏を披露してもらいます。そしてフィナーレは花火を打ち上げ、ライトアップされた風船でチュー祭を彩り、終わりをむかえます。みんなでコロナ禍で制限されていた青春を取り戻しましょう。これでBグループの発表を終わります。



## ■Cグループ



名古屋に住んでいるみなさんでも、名古屋の魅力は？と聞かれたら返事に困るのではないのでしょうか。そんな名古屋の魅力を再発見するためにこのアクションプランにしました。

今回は名古屋めし、名古屋の名所、名古屋の魅力を活かす方法、チュー祭を盛り上げるための4つに分けて紹介していきます。このアクションプランで名古屋の魅力を伝えるために大切にしたい2つのキーワードがあります。1つは「どんな人でも」です。子どもでも大人でも全員が楽しめる企画を行うことで誰もが愛する名古屋の魅力を発信していきたいです。

2つめは「参加型」です。テレビで見たりニュースで聞いただけでは分からないこともあるという意見が出たので、実際に体験して五感で感じることができるチュー祭にしたいです。

名古屋の魅力1つめは「名古屋めし」です。「チュー食堂」という活動を行いたいです。

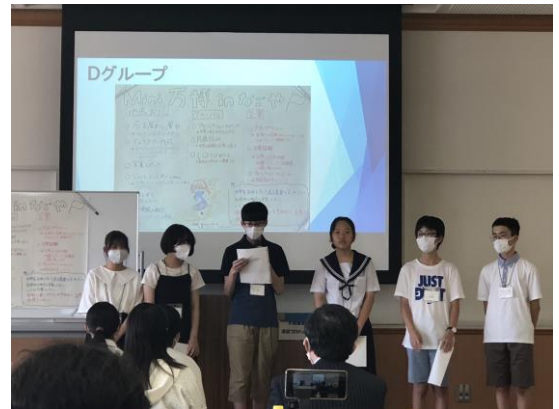
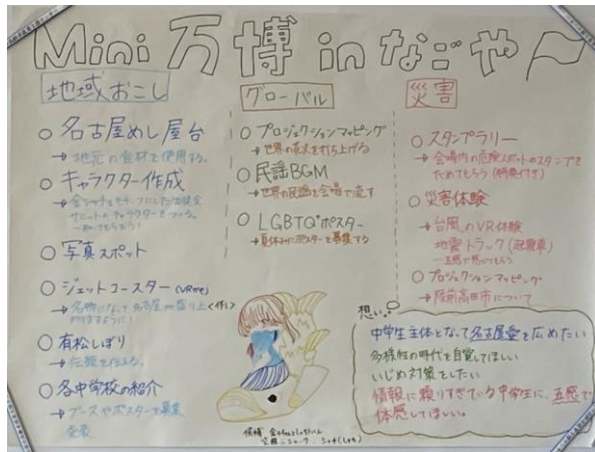
具体的には手羽先を上手に食べる豆地知識を展示したり、来場者にSNSで名古屋めしについてつぶやいてもらい、名古屋めしをたくさんの人に楽しんでもらいたいです。また、名古屋の水と味噌は美味しいので、名古屋の水と味噌を他の地域と比べてクイズ形式で食べ比べを行いたいです。チュー食堂で名古屋の人も知らない名古屋めしの魅力を実際に体験してもらうことで伝えていきたいです。

次は名所についてです。1つめはレゴで名古屋のものを作ることです。名古屋について知るきっかけにもなりますし、大人でも子どもでも楽しめます。2つめはチュー祭スタンプラリーです。名古屋マップに書かれている場所に行き、スタンプを押します。スタンプの数に応じて賞品をゲットできます。1つめも2つめも実際に体験できるので楽しんでもらえるのではないかと思います。次に魅力を活かす方法です。1つめはプリクラです。チュー祭の会場にプリクラを撮るコーナーを設けます。プリクラとレゴを一般的なものとは違って名古屋城や名古屋の名物のものにします。若者や学生たちは撮ったプリクラをSNSに投稿することが多いと思います。SNSを通して名古屋の魅力のデコを見たらきっと名古屋に興味を持ってくれると思います。2つめは名古屋弁クイズです。最近名古屋弁を使わない人が多くいるように感じます。メジャーな言葉からマイナーな言葉までクイズを通して名古屋弁について知ってもらいたいです。3つめは有松絞などの伝統工芸品や伝統的な楽器の無料体験です。

各地域で伝統工芸品を利用したお祭りはありますが、その地域でとどまっているようにも感じます。大勢から注目の集まる場所で伝統工芸品を知ってもらう機会をつくりたいです。そして最後にチュー祭のことをみんなに知ってもらうためにチラシを使って宣伝し、盛り上げていくためにチュー祭のキャラクターの募集、来場者の感想を聞いて次回のチュー祭に活かせるように、うしろの方見えますでしょうか？このようなブースを設置し、そのときだけでなく思い出として残せるように、またSNSで広めるために写真スポットを設置します。

まとめです。私たちは、名古屋めし、名所、魅力を活かす、盛りあげの4つの観点をもとに名古屋人も知らないことをチラシやSNSなどを用いて発信し、年齢などに問われないそんなチュー祭を楽しめるようにしていきたいです。これで私たちCグループの発表を終わります。

## D グループ

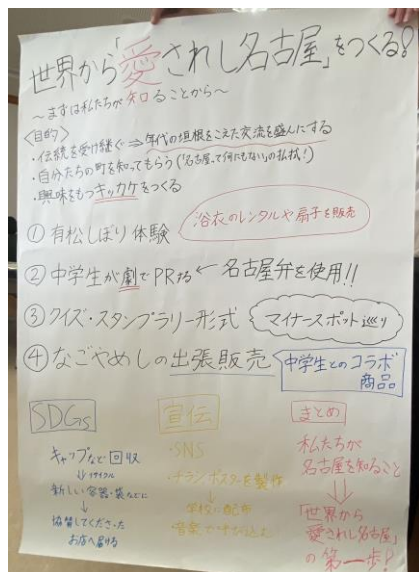


これからD班の発表を始めます。私たちが提案するのは、「ミニ万博 in なごや」です。

そのために主に3つの柱を作りました。1つめの柱は地域おこしです。中学生が主体となって名古屋愛を広げることが目的としています。まず、名古屋めし屋台で地元の食材を使用し、名古屋の食文化を伝えます。次にキャラクターの作成です。キャラクターを使うことで印象に残り、名古屋市生徒会サミットやチュー祭を覚えてもらうことができます。3つめは写真スポットの作成です。来場者の印象にも残りますし、写真をSNSに投稿してもらえば宣伝も兼ねることができます。4つめはジェットコースターです。チュー祭の名物となってもりあげることができます。5つめは有松絞りなど伝統工芸品の体験です。これによって名古屋の伝統を中学生に伝えることができます。最後は名古屋市の各中学校の紹介です。その中ではブースや募集したポスターを使って他の中学校について知ることができます。以上の6つの内容によって中学生の中学生による中学生のための地域おこしを行い、名古屋愛を広げることができます。

2つめの柱はグローバルです。このテーマになった意義は国際社会に関心を持ち、将来活躍できる人材を名古屋から排出します。具体的にはプロジェクションマッピングを活用して世界中の風景や花火を映したり、BGMで世界各地の民謡を流すことで異文化を自然に、身近に体験できます。また、LGBTQ+に関するポスターを名古屋市内の中学生から夏休み中に募集、本番で設置し、中学生からLGBTQ+の理解を広め、多様性の時代を自覚し、いじめの撲滅につながるようにしたいです。最後の柱は災害についてです。これは情報だけに頼りがちな中学生たちに五感で災害の恐ろしさを感じてもらうための活動です。1つめにスタンプラリー会場に用意された危険スポットを見つけ、身近な危険を知ってもらいます。全て集めた人には特典を受け取ってもらいます。これを行うことで自分の家の近くの危険な場所を探してほしい、対策をしてほしいと考えています。2つめに災害体験VRや起震車を使って自分の身体で災害の怖さを体験できます。最後に先ほども紹介したプロジェクションマッピングです。東日本大震災以降交流が続く岩手県陸前高田市の当時の映像を流し、災害がもたらす被害や恐怖を視覚でとらえて災害の恐ろしさを知ってほしいです。それでは最後に3つの柱に込められた想いをおさらいします。1つめの柱は中学生が主体となって名古屋愛を広めたい。2つめの柱は多様性の時代を自覚していじめ対策をしたい。3つめの柱は災害について五感で体感してほしい。この3つをチュー祭で中学生に伝えるのが私たちの目標です。以上でD班の発表を終わります。

## E グループ



まずみなさんは地元名古屋にどのような印象を持っていますか？名古屋と言えば人口230万人を有し東京大阪に次ぐ日本3番目の大都市であるのにも関わらず、名古屋って何にもないだとか、愛知県名古屋市なのに名古屋県だとか思われていたり、名古屋の課題は

知名度が低いことだと私たちは考えました。さらに名古屋市に住んでいる私たちでもあまり魅力がぱっと思いつかないというものの現状です。そこで私たちE班のテーマは「世界から愛されし名古屋をつくる」そのためにまずは私たちが知ることからです。このテーマの目的は伝統を受け継いで年代の垣根を超えた交流を盛んにすること、自分たちの街を知ってもらい名古屋って何もないよねを払拭すること、興味を持つきっかけをつくることです。この目的を達成するために4つのことを考えました。1つめは有松絞り体験を行うことです。みなさん有松絞りという言葉は聞いたことありますか？簡単に説明すると有松町鳴海町でつくられた木綿絞りの総称です。布をくくって染めることで様々な模様を描き出すものです。この有松絞りは16世紀ころから代々私たちまで受け継がれてきました。この中にも実際に体験したことがあるという人も多いのではないのでしょうか。ですが、中にも体験したことない人もいます。そこで私たちは実際に有松絞りをを行うという企画を考えました。ただ有松絞りという存在や歴史を知ってもらうだけでなく、実際に体験することにより記憶や形として残り、目的の伝統を受け継いでいくということにつながっていくと思います。また、有松絞りでつくられた浴衣のレンタルや扇子を販売するという意見も出ました。このような伝統を長く名古屋にいる人から私たち若者に受け継ぐことによって、年代の垣根を超えた交流が盛んになり、愛されし名古屋を実現する一歩につなげていきます。2つめに考えたことは中学生が劇でPRをするです。劇は名古屋の御園座にちなんで「なんちゃって歌舞伎」などの意見がでました。また、方言を取り入れたいと思い劇中は名古屋弁を使ってザ・名古屋な劇にしていきたいと思いました。私たち名古屋民から名古屋のことを面白く楽しく知り、ここ名古屋から日本全国に、日本から世界に名古屋旋風を起こしていきましょう。3つめに考えたクイズスタンプラリー形式について説明します。名古屋城などのメジャーなスポットだけでなく、あまり知られていない小さなスポットまでよく知ってほしいという意見を参考にしました。そこでいろいろなところを巡るために名古屋市交通局さんとコラボをし、企画切符を作ろうという意見がでました。これをふまえてクイズを作り、マイナーなスポットを巡るスタンプラリーを実施します。景品は名古屋の伝統にまつわるものです。例えば焼き物のキーホルダーなどです。この活動をすることにより、名古屋の隅々まで知ることができると思います。4つめに考えた名古屋めしの出張販売について説明します。出張販売で販売するものは、伝統のある名古屋めしをチュー祭にちなんで中学生らしさをプラスしたコラボ商品です。また、容器を紙製にしたのでSDGsに貢献できます。名古屋は近かりニア新幹線が開通し、ますます魅力ある街へと成長していくと思います。

この名古屋を世界に知れ渡り愛される名古屋にしていききたいそのためにはまず、名古屋に住む私たちが名古屋のことを知って名古屋に興味を持つ、これが世界から愛されし名古屋の第1歩となるのではないのでしょうか。これでE班の発表を終わります。

16:00

## エンディングセレモニー

### ■ 講評 京都造形芸術大学客員教授 寺脇 研 氏



名古屋市生徒会サミットに毎年応援に来てくださっている寺脇先生から今年もご講評をいただきました。

「チュー祭は名古屋の人だけでなく、いろんな地域の人に見てもらえる活動。一昨年はコロナで海外の人は来られなかったが、来年のチュー祭では世界の人から見てもらえるかもしれない。50年前は中学生が学校外で様々な人が見にくる可能性のある催しをできるとは思ってもみなかった。

発表では、校則やSDGsがなぜあるのか、また、名古屋をもりあげようとするものが多く、郷土愛があふれていると思った。大変だと思うときもあるかもしれないが、自分たちが楽しむとともに多くの人に楽しい、面白いと思ってもらえるよう頑張してほしい。」とエールをいただきました。

### ■名古屋市生徒会サミット実行委員会について

「ここから実行委員会について少し説明します。名古屋市生徒会サミット実行委員会は、2015年のサミットに参加した6名の生徒会役員が立ち上げました。実行委員会は「来るものは拒まず、去る者は追わず」をモットーにしてきましたが、2023年現在の在籍は60名を超えています。実行委員はこれからも未来永劫続くこの事業を主体的に運営する団体です。来年度の「チュー祭」に向けて中学生のみなさんからも多く実行委員を募りたいと思っています。ぜひ、私たちと一緒に来年の「チュー祭」をつくりあげましょう！」

### ■高校生実行委員グループ発表

名古屋市生徒会サミット高校生実行委員の2チームが、サミットと実行委員会の魅力を参加の中学生たちに伝えました。また、名古屋市生徒会サミットを広く知ってもらうため、今も行っているSNSの広報活動などのアクションプランを発表しました。大学生実行委員からは、一人ひとり中学生に向けてエールを送ってくれました。名古屋市生徒会サミット実行委員は年齢の壁を越えて地元名古屋をもりあげていくために連綿と受け継がれています。



### ■見学の先生方の発表

今回は急な提案にも関わらず、来年のチュー祭でやってみたいことを先生方も作成してくださいました。オアシス21の会場を出て市内の名古屋の魅力スポットを集めてオアシス21の会場に時間までに戻る、時間になったら花火があがる、その花火をどこで聞くかなど、大がかりなアイデアに生徒たちもワクワクした表情で聞き入っていました。



### ■事後アンケート記入

(後記で紹介)

### ■集合写真



17:00

終了 全員で片付けと清掃

## ■中学生参加者の事後アンケートより

### 1 名古屋市生徒会サミットはどうやって知りましたか？（複数可） 33名全員回答

- |             |     |
|-------------|-----|
| ①ポスター       | 4人  |
| ②先生から       | 17人 |
| ③先輩から       | 4人  |
| ④友人から       | 4人  |
| ⑤今までの参加校だから | 3人  |
| ⑥SNSで       | 2人  |

### 2 感想と学び

（※以下は事後のアンケートから、抜粋してご紹介させていただきました。また、文章の1部を抜粋しています。）

○この場にいるみなさんがそれぞれ実現したいチュー祭の形があって話し合いをしながら意見を深めることができるとても刺激になりました。自分の意見を伝えることにとどまらずみんなの意見を聞いてそれをどうしたら形にできるのか、話し合っていくことがとても楽しくてまたやりたいと思いました。

○違う学校の仲間たちと熟議をするというのは初めての経験で、とても有意義な時間になったと思います。自分ひとりでは考えつかないような意見がたくさん出され対話の大切さを改めて感じました。見識も広がりました。

○踏み込んだ発想やダイナミックなこと、中学校では話し合うことができないことをどんどん発言することができて自分の意見を自分自身知ることができました。他の人の意見も面白く、時間の流れが速く感じました。

○中学生としてしっかり意見を聞いてもらえる場はなかなかないので真剣に話し合えたい時間でした。事前学習の内容が少し分かり辛かったですが、6人でアイデアを出し合い、互いの個性や得意分野を活かしてひとつの発表をつくることができるとても楽しむことができました。

○意見として。可能なら1日持ち帰ったほうが熟議に身が入ると感じました。

○仲間と協力して何かを企画することの楽しさを知れた。自分の意見を否定されない。相手の意見を否定しないという考え方を今後自分の学校の生徒会にも取り入れたい。意見を言うことに今まで不安や緊張などの感情を抱いていたが、今回は楽しみ、快樂となった。めったにない体験を忘れない。

○他校の生徒と交流するので最初は緊張しましたが、アイスブレイク後から一気に集中して話し合いを進めました。絶対的なリーダーを決めないぶん一人ひとりが自分事として動いていたと思います。

○「自由に思ったことを発信していい」という言葉が嬉しかったです。普段の生徒会活動ではたくさんの制限で縛られています。しかし、ここでは思ったこと全てを尊重してくれる。それがとても新鮮で楽しくて嬉しかったです。今日参加して本当に良かったです。

○はじめはゴリゴリの初対面でロクに話し合いができないとすら思ったけど、アイスブレイクと、その後の話し合いが大いに盛り上がりすぎてすごく楽しかった。中学生同士の柔軟な熟議が面白かった。

○もっと硬い雰囲気だと思っていたけど、みんながそれぞれのグループで協力し合ったり、温かい雰囲気に参加しやすかった。

○大人からの指示でチュー祭に向けて話し合うのではなく、「自分たちがやりたいこと」という視点で話し合うことができ、とても楽しくやりがいを感じました。

○今回ファシリテーターを務めさせてもらい、「誰の意見も否定しない」ということの難しさを感じつつ、自分自身が成長できたことを実感しました。

○意見として。持ち物に時計を書いてほしかった。時間管理を身近な所でしたい。  
学びは・時計を見て計画を立てることの重要性。・自ら考えて自ら行動すること。・たくさんの人と協力すること。・助けが必要な時は声をかける。

○他の学校の人ということもあって緊張して話し合いにうまく入れなかった。恥ずかしがらず、自分の気持ちを伝えることも大切であると思った。また、他の学校の人の意見を聞いて「そういう考えもあるのか」と学べた。

○受け身になって人から教えられて理解するのではなく、自分から「知りたい」という意欲を持って調べたり聞いたりすることを学んだ。

○今まで他校の生徒会の方々と接する機会がなく、このようにレベルの高い熟議はしたことがなかったので、今回の生徒会サミットに参加できてすごく良かったです。非常に貴重な経験をしたと嬉しく思います。2024年のチュー祭がすごく楽しみです。

○私にとっての学びのうちの1つは、宣伝は大事だということです。この生徒会サミットのこととはたくさんの方が知っているわけではありません。それでそのままチュー祭を行ったら当然人は全然来ないと思います。実行委員の先輩方の発表のとおり、今の時代、広報はいろんなことができるようになりました。

○人は一つのことに本気で一緒に取り組むことで時間は関係なく仲良くなれるということです。私は同じグループの5人中1人の友達以外はもちろん初対面でした。はじめは互いに敬語で話題もさぐりさぐりでした。しかし、話し合ううちに知らずと気軽に会話できるようになり、学校や日常の話もできました。とても充実した1日をありがとうございました。

○最終的にどんな案を出しても最終的にうまくまとめて成功させることができることを学んだ。

○学校や学年の垣根を超えた話し合いだったと思います。中学校には中学校ならではの伝統のような思考があり、新しい思想はあまり口にできません。また、学年ごとの序列を気にして顔を伺うような話し合いにどうしてもなってしまいます。しかし、ここではそうではなかった。たくさんの新しい意見を知ることができる学びの場になりました。

○もっと自分が「やりたい」と思ったことに踏み込んでも良いということ。否定されない。可能なことから夢かもしれないというところまで自分の考えを話していい場はそうはありません。

○自分の知っている世界や話している範囲は思っていた以上に狭いと知りました。自分だけでなく、周

りもですが、知っている人、仲間内というのは予想以上に世界は小さく、出てくる意見も少ないです。でも、今日初めて会う初めて話した人たちとの話し合いは、自分の世界も広がりました。

○これからの時代、受動的ではなく、自ら能動的にアクションを起こすことが大切だと学びました。大学生実行委員の方の「不安は行動の原動力だ」というお話がとても納得し、心に残りました。

## ■おわりに

今回のサミットは、来年開催予定の第2回中学生の祭典「チュー祭」に向けて、どんな祭りにしたいか自由な発想でのびのびと熟議をしてほしいという主催者の願いから構成しました。

事後アンケートにもあるように、初対面でのスタートでしたが、他校の生徒と意見を交換しながら、自分の考えを深めたり、見聞を広げたりしながら、アクションプランを共に創り上げる経験は、「繋がり」を実感できる良い経験になったのではないのでしょうか。

発表では、5つのグループから多くのアイデア、アクションプランが生まれました。それぞれプランに対する思いや意義も発表してくれました。幣協会としてもできる限り参加の中学生たちが考えたアクションプランを実現させてやりたいと思っています。これから名古屋市生徒会サミット実行委員会でも内容を詰めて行きます。2013年からスタートし、2015年の参加中学生6名が立ち上げた実行委員会も現在60名を超えています。そして今回のサミット参加中学生から19名の加入希望をいただきました。新しいメンバーを迎え、今までこのサミットを牽引してきた先輩たちと共に年齢の垣根を越えて共にチュー祭を実現させます。名古屋市の約5万人の中学生全員参加を目指してこの祭典を盛り上げ、「未来の名古屋は私たちが創る」をスローガンにぜひ2024年の中学生の祭典「チュー祭」を成功させましょう。

最後に、このように毎年サミットを継続できますのも、関係各位のご理解とご協力のおかげと、お礼申し上げます。

幣協会は、ふるさとを大切に思い、利他の精神をもってふるさとのために貢献する、そのためには「自分は独りではない」という「絆」を胸に行動できる「日本の未来を担う青少年」を育成すべく、この事業をこれからも末永く継続して行きます。今度とも名古屋市生徒会サミットにご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2023年10月12日

教育支援協会東海専務理事 西尾真由美

### 問い合わせ先

NPO 法人 教育支援協会東海 代表理事 本多 功  
名古屋市西区南川町 297 番地  
TEL 052-505-4900 / FAX 052-506-9078

NPO 法人 教育支援協会東海 専務理事 西尾 真由美  
E-mail : [m.nishio@kyoikushien-tokai.org](mailto:m.nishio@kyoikushien-tokai.org)  
URL : <http://kyoikushien-tokai.org>

